
エコアクション21

2022年度 環境経営レポート

2022年4月～2023年3月



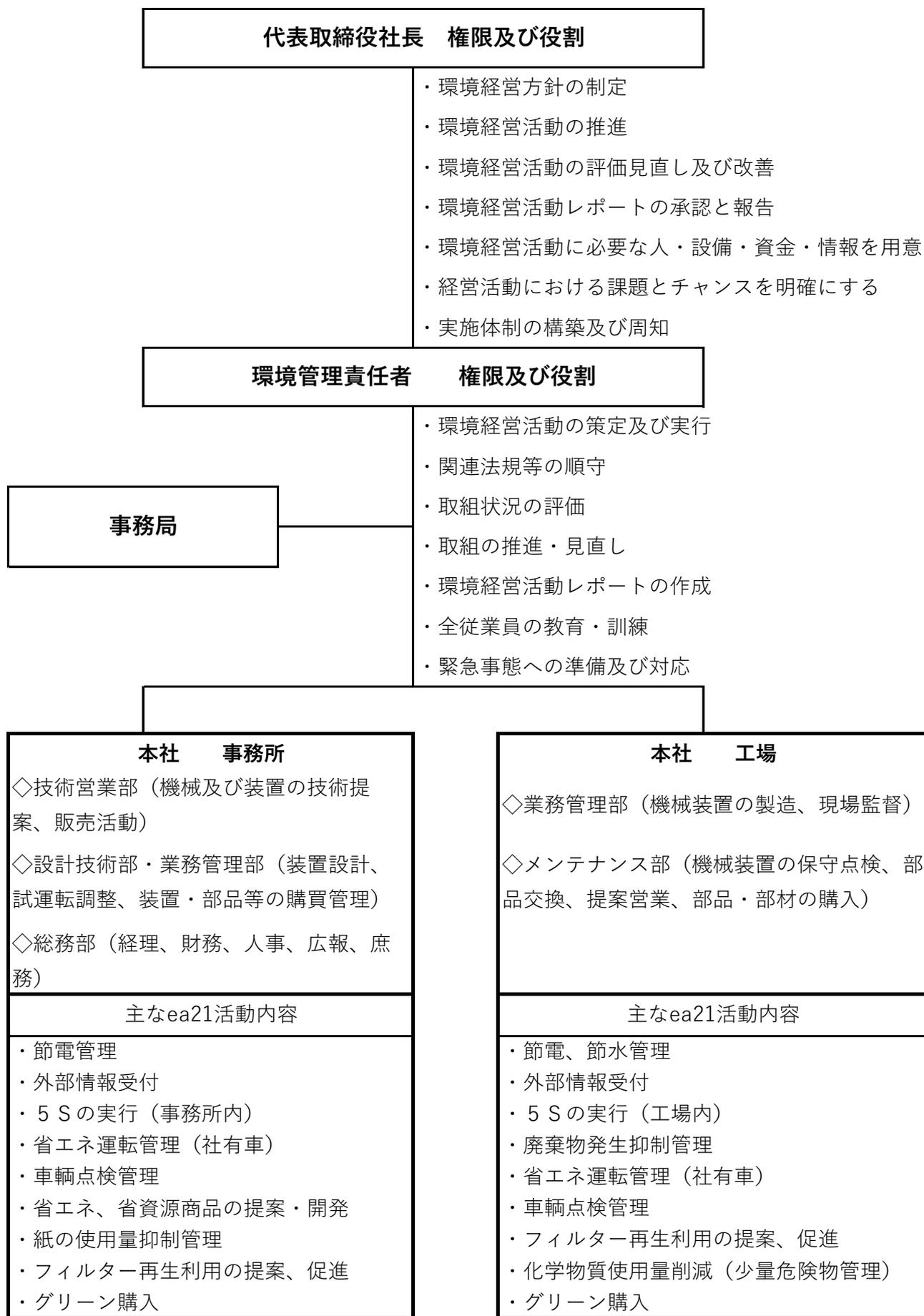
2023年8月24日 作成



目次

表紙	1
目次	2
エコアクション21 組織体制図	3
1. 環境経営方針	4
2. 事業活動の概要	5
3. 環境経営目標及び環境経営計画・活動の内容	6～8
4. 環境負担の実績及び環境活動取組評価	9
5. 次年度への取組み内容	10
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	10
7. 代表者による全体評価と見直しの結果	10

エコアクション21 組織体制図



2013年8月15日

制定

2023年4月1日

改訂

1.環境経営方針

基本理念

集塵装置株式会社は、”製品やサービスを通じて、お客様にクリーンな環境を提供し、選ばれる企業を目指す”を経営理念に掲げております。地球温暖化など深刻化する環境破壊が人類の最重要課題であると認識し、全組織を挙げて環境負荷の低減に努力します。

基本方針

集塵装置株式会社は、製造・販売・保守に関わる全ての活動、製品、及びサービスの環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進し、継続的改善に努めます。

- 1 省エネ・省資源型装置販売の開発・改良・提案・販売に努めます
- 2 環境関連法規を遵守します
- 3 資源・エネルギー（電気、化石燃料、水、紙）の削減に取り組みます
- 4 廃棄物の排出抑制に努めます
- 5 グリーン購入の推進に努めます
- 6 SDGsに取り組むことで、2030年に向け持続可能な社会の実現に努めます
- 7 これらを全ての社員に周知し、環境意識の向上をはかります

2013年1月1日 作成
2020年10月1日 改訂
集塵装置株式会社
代表取締役社長 丸山宏樹

2.事業活動の概要

(1) 事業所名及び代表者氏名

集塵装置株式会社

(2) 所在地

〒175-0081 東京都板橋区新河岸2丁目6番8号

(3) 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者	代表取締役	丸山 宏樹
エコアクション2.1担当者	総務部	杉中 優美 渋谷 佳代

(4) 事業内容

公害防止装置、空気輸送装置の設計・製造・販売・保守

建設業許可番号	東京都知事許可（特-2）	第29193号
	東京都知事許可（般-2）	第29193号

(5) 事業の規模

2022年度売上高 7億円

従業員数 26名

3.環境経営目標及び環境経営計画活動の内容

(1)中期環境経営実績・経営計画目標（2021年度～2023年度）

※中期計画の二酸化炭素排出係数は、2020年度を基準としています

項目	単位	基準値	2021年度実績		2022年度目標		2022年度実績		2023年度目標		
		三年平均値	2021/4～2022/3		2022/4～2023/3		2022/4～2023/3		2023/4～2024/3		
二酸化炭素排出量	kg-CO2	72,388	基準値比	-6.39%	基準値比	-1.23%	基準値比	-18.75%	基準値比	-3.30%	
			67,763		71,500		58,814		70,000		
内 訳	電気使用量	kWh	61,794	基準値比	8.34%	基準値比	-0.48%	基準値比	-8.75%	基準値比	-1.28%
				66,949		61,500		56,387		61,000	
ガソリン使用量	ℓ	9,902.5	基準値比	-29.00%	基準値比	※	基準値比	-48.40%	基準値比	※	
			7,030.8		—		5,109.4		—		
軽油使用量	ℓ	5,332.2	基準値比	-0.80%	基準値比	※	基準値比	4.92%	基準値比	※	
			5,289.6		—		5,594.7		—		
燃費（ガソリン）	ℓ	※	基準値比	※	基準値比	※	基準値比	※	基準値比	※	
			—		15.0		13.9		15.0		
燃費（軽油）	ℓ	※	基準値比	※	基準値比	※	基準値比	※	基準値比	※	
			—		10.0		11.7		10.0		
総排水使用量	m ³	419	基準値比	-1.19%	基準値比	-5.73%	基準値比	-15.27%	基準値比	-6.92%	
			414		395		355		390		
化学物質使用量	kg	88.5	基準値比	-11.64%	基準値比	-1.13%	基準値比	-14.46%	基準値比	-3.95%	
			78.2		87.5		75.7		85.0		
産業廃棄物排出量 （リサイクル含）	t	25.3	基準値比	-59.29%	基準値比	-1.19%	基準値比	1.19%	基準値比	-5.14%	
			10.3		25.0		25.6		24.0		
一般廃棄物排出量	t	1.19	基準値比	5.04%	基準値比	-0.84%	基準値比	15.97%	基準値比	-2.52%	
			1.25		1.18		1.38		1.16		
フィルター再生利用 の受注件数	件	18	基準値比	-11.11%	基準値比	5.56%	基準値比	-22.22%	基準値比	11.11%	
			16		19		14		20		

◆基準値は2018～2020年三年間の平均値を使用 ◆二酸化炭素排出係数（電気）：0.499kg-CO₂/kWh(2020年度・グローバルエンジ)

(2) 環境経営計画の内容

1.二酸化炭素排出量（電気）の削減

- 昼食時の消灯を徹底する
- 昼食時のエアコンオフを徹底する
- 工場内照明をLEDに変更する



2.二酸化炭素排出量（ガソリン）の削減

- アイドリングストップを徹底する（車内掲示、教育）
- 不要な車載荷物を降ろすことを指導
- 燃費目標とし、目標値より少なければ良しと判断する



3.二酸化炭素排出量（軽油）の削減

- アイドリングストップを徹底する（車内掲示、教育）
- 不要な車載荷物を降ろすことを指導
- 燃費目標とし、目標値より少なければ良しと判断する



4.総排水量の削減

- 水の出しっ放し、使い方を指導



5.化学物質使用量の削減

- 使用前の在庫確認、在庫の見直しによる購入量の抑制



6.産業廃棄物排出量の削減

- リサイクル排出量（端材等）の再々利用する
- 収集場の廃棄物（一般・産廃）区分をはっきりとする



7.一般廃棄物排出量の削減

- アスクル梱包材の業者引き取りを継続する
- コンビニごみ等を圧縮し、廃棄をおこなう



8.省エネ・省資源型装置の開発・改良提案・販売



■集塵フィルターの再生利用の促進活動

9.紙の使用量の削減



- PCやコピー等の印刷は、両面又は縮小印刷等を用いる
- 購買業務の見直しで社内発注書のペーパーレス化
- 顧客への提出資料（取扱説明書・図面等）を紙からCDへ

10.グリーン購入の推進



- 一般購入品のグリーン購入への切り替えを推進する



～活動内容～



電気量削減の為、照明をLEDに変更いたしました



エネルギー消費削減の啓蒙を図っています



地域貢献活動の一環として、毎月1回事務所周辺の清掃活動を行っています



社用車は低排出ガス車を使用しています



エコドライブの徹底



室内温度の管理



4.環境負荷の実績及び環境経営活動取組評価

項目	単位	基準年度	期間目標	期間実績	評価	
		2018.4～2020.3	2022.4～2023.3			
二酸化炭素排出量	kg-CO2	72,388	71,500	58,814	目標達成しているが、今後も二酸化炭素排出削減に努めていく。	
内 訳	電気使用量	kWh	61,794	61,500	56,387	電気量削減効果として、LED導入は成功だった。
	ガソリン使用量	ℓ	9,902.5	—	5,109.4	引き続き、燃費について社内啓蒙をしていく。
	軽油使用量	ℓ	5,332.2	—	5,594.7	引き続き、燃費について社内啓蒙をしていく。
総排水使用量	m ³	419	395	355	無駄使いしないよう、今後も意識させたい。	
化学物質使用量	kg	88.5	87.5	75.7	今後も業務プロセスを意識した行動を指導する。	
産業廃棄物排出量 (リサイクル含)	t	25.3	25.0	25.6	引き続き。効率性ある作業を求めていく。	
一般廃棄物排出量	t	1.19	1.18	1.38	コンビニごみの削減を今後考えたい。	
フィルター再生利用の 受注件数	件	18	19	14	ホームページ等にて更にフィルター再生利用を広報していく。	

5. 次年度への取組み内容

(第3項 (2) 環境経営活動の内容1.~10.) の取組みを継続する。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

- (1) 環境関連法規の遵守状況を自らチェックし、違反はありません。
(主な環境法規等： 廃掃法・消防法・東京都環境確保条例)
- (2) 関係当局からの違反の指摘は、過去3年間ありません。
- (3) 訴訟も、過去3年間ありません。

7.代表者による全体評価と見直しの結果

2013年4月から開始した環境経営活動も、10年目を迎えました。

今年度は前年の課題であった、電気量の削減に取り組みました。

工場および事務所の全LED化は電気量の削減に大いに寄与しました。

当社二酸化炭素排出量は基準年値から約18%減少しました。

今後も出来る施策をうち、目標に向けて、前進して参りたいと存じます。

2020年10月からスタートしたSDGsの取組みも、更に深めていきます。

今後も上記課題を含め改善を進め、エコ活動に努める所存です。

代表取締役 丸山宏樹